

## 標識ランプの開発と可能性について

桔梗ヶ原病院

松塚 翔司

【経緯】 J-SDSA (Stroke Driver' s Screening Assessment 日本版) の評価項目の中に「道路標識」がある。 J-SDSA 以外で「道路標識」を用いた評価ツールは存在しない。今回、当院で標識ランプを考案したため、報告する。

【意義】標識ランプは、①道路標識の再認識、②複数の注意機能と同時処理能力の向上、③リハ訓練ツール、④失語症者の評価ツールとする。道路標識は全 28 種類で構成されている。

【考察】安全運転の観点から道路標識を理解することは重要である。また、dual task トレーニングとして活用できる。しかし、使用方法が多岐にわたることや効果判定の方法等、検討が必要である。

【結語】道路標識を再認識することで安全運転につながる可能性があることや運転に必要な複数の注意機能と同時処理能力の向上に期待できることからリハ訓練のツールとして活用できると考えた。